

精神保健福祉

みやまき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

62

2022

表紙説明

「高千穂 神楽」

(高千穂町 提供)

裏表紙説明

「高千穂峡」

(高千穂町 提供)

「青いTシャツ」 に込められた願い

この青いTシャツ（愛称：青T）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

巻 頭 言

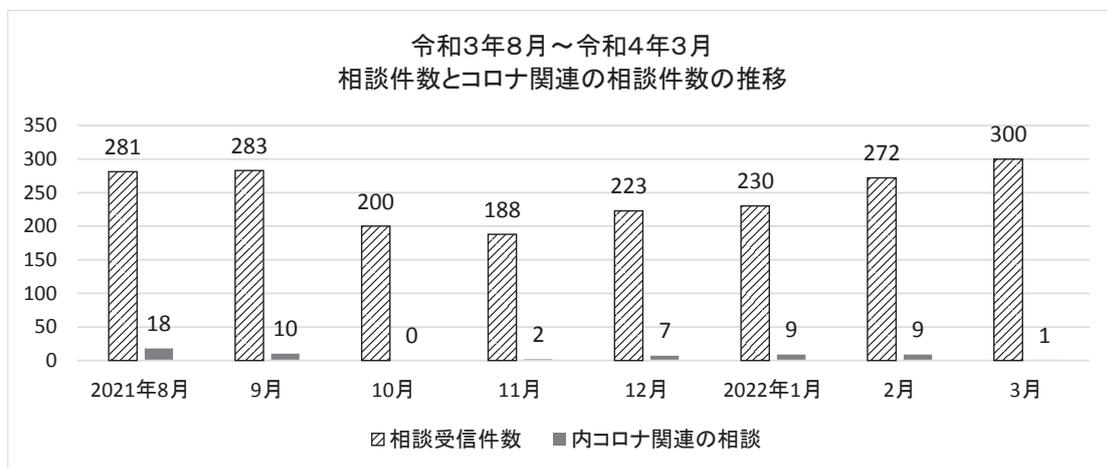
宮崎いのち電話とコロナ禍

宮崎県精神保健福祉連絡協議会
会長 高宮 眞樹

宮崎いのちの電話が令和元年9月10日（自殺予防デー）に開局したことは本誌59巻の巻頭言で紹介させていただきました。その4ヶ月後に新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、現在まで幾多の波を繰り返しています。特に令和4年1月からのオミクロン株による第6波はこれまでにない程の感染拡大で毎日の新規感染者数の驚くべき数や5ヶ月経った6月24日現在でも収束していないばかりか6月23日、24日と新規感染者数が増加に転じており、更なる感染拡大への懸念も出はじめています。その影響は甚大で、経済のみならず私達の心にも不安・不満が充満しています。昨年9月までは宮崎いのちの電話への相談件数が280件/月で推移していましたが、9月末にデルタ株が急速に収束すると10月は200件、11月は188件と減少しました。ところが12月にオミクロン株の話題が持ち上がり、翌年1月からの感染拡大で下のグラフの様に相談件数は増加に転じ、現在まで300件/月での高止まりが続いています。しかもコロナ感染に直接関わる相談電話は10件/月以下しかありません。コロナの感染拡大によって不安・不満が広がった影響だと思われます。

このような状況下で宮崎いのちの電話の相談員は2期生、3期生を加えて88名となり、現在4期生10名の養成研修が進行中です。彼らは仕事も家族もありながら夕方から翌日の4時まで相談ブースで電話を待っておられます。電話の内容も多岐に渡りますが中にはただ怒りをぶつけるだけの電話もあるようで、相談員の方々の心労もなみ大底ではないと思います。しかもそれをボランティアでやっておられることに感謝の言葉しかありません。

ところで、今年の2月1日からこれまでのナビダイヤル、フリーダイヤルに普通ダイヤルを加えて3本体制となりました。普通ダイヤルなので経済的な負担も少なくなり、宮崎県民の皆様の色んな悩みに寄り添うことができるようになったのではないかと思います。



宮崎いのちの電話 相談用電話番号	活動時間（365日）
通常ダイヤル 0985-89-4343	月・水・金・日曜 夜9時から翌朝4時
ナビダイヤル 0570-783-556	火・木・土曜 夕方6時から翌朝4時

【宮崎いのちの電話ボランティア相談員第5期生募集中】

お気軽に下記事務局まで問い合わせください。

事務局 TEL：(0985) 33-9557（月-金 朝9時から夕方5時）

あなたの声に救われるいのちがあります。
あなたもこの活動に参加してみませんか？

目 次

巻 頭 言

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 高宮 眞樹	1
-------------------------	---

第61回 宮崎県精神保健福祉大会（令和3年度開催）

「伝えよう あなたのこころ 私のこころ」	4
----------------------	---

精神保健福祉事業功労者（令和3年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人6名、2団体）	5
------------------------------	---

表彰受賞者の声（令和3年度）

コスモス会	（宮崎市）	8
一般社団法人一路会	押川 奉史（宮崎市）	9
NPO法人ふれあいスポットかがやき	倉爪 英臣（日南市）	10
えびの市はつらつサポーター連絡会	（えびの市）	11
NPO法人ふあむ・ふあーむ	渡邊 幸子（木城町）	12
NPO法人川南町のぞみ会	加藤 由紀夫（川南町）	13
一般社団法人宮崎県断酒友の会	海江田 徳行（延岡市）	14
道の駅高千穂	佐藤 利治（高千穂町）	15

第21回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

第21回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

NPO法人延岡市しょうがい者大輪の会スポーツクラブ	17
---------------------------	----

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会	18
日南串間地域精神保健福祉協議会	19
都城北諸地域精神保健福祉協議会	20
西諸地域精神保健福祉協議会	21
西都児湯地域精神保健福祉協議会	22
日向入郷地域精神保健福祉協議会	23
延岡地域精神保健福祉協議会	24
西臼杵地域精神保健福祉協議会	25

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	26
一般社団法人宮崎県断酒友の会	27

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人日南市社会福祉協議会フクちゃん工房（就労継続支援B型）	28
NPO法人明朗会ななえ福祉作業所（就労継続支援B型）	29
社会福祉法人燦燦会ふれあいの里（就労継続支援B型）	30
社会福祉法人浩和会第二白浜学園（就労継続支援B型）	31
就労サポートセンター太陽の樹（就労継続支援B型）	32
NPO法人天岩戸友愛会ふれあい作業所あまてらす（就労継続支援B型）	33

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和3年度事業実績	34
令和4年度事業計画	35
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	37
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	38

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

第61回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「伝えよう あなたのこころ 私のこころ」

- 1 開催日時 令和3年10月9日（土）12：20～15：30
- 2 場 所 宮崎市佐土原総合文化センター
- 3 参加人数 178名
- 4 大会内容



(1) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	2名	1団体
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	6名	2団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	9名	



(2) 体験発表

「宮崎いのちの電話の開始と運営について」

宮崎いのちの電話事務局 加古 祐子 氏



(3) 特別講演（オンライン）

演 題 「生きづらさに寄り添う ～自死遺族支援活動を通して～」

講 師 山口 和浩 氏

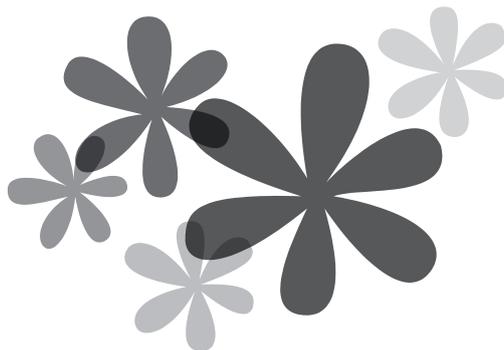


宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（令和3年度）

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
コスモス会	宮崎市	不登校・ひきこもりの子どもを持つ親の会	<p>平成6年1月に不登校やひきこもりの子どもを持つ親同士が語り合い、許し合える場として「コスモス会」を設立。月1回の例会を実施し、現在も継続している。</p> <p>当事者（若者）と一緒に一般企業の広報紙の発送作業に従事しており、現在、3名の当事者が参加。過去の利用者で、就労移行支援を通して介護職へ就労した方もいる。</p> <p>広報紙「こすもす通信」を毎月作成し、関係機関や会員等（110カ所）に送付し、「例会に参加できるようになるまでにも時間がかかる。通信だけでも送ってほしい」という要望にも対応している。</p> <p>これまでの長きにわたる活動は、地域で同じ悩みを持つ方々の気持ちを和らげ、現状に向き合うための大きな力となっている。</p>
おしかわ 押川 ともし 奉史	宮崎市	一般社団法人 一路会 代表理事	<p>平成元年西都市西児湯医師会立西都救急病院へソーシャルワーカーとして入職、平成3年野崎病院（医療福祉相談室）へ就職後、相談員として勤務しながら、精神保健福祉士の資格を取得。</p> <p>平成15年より学校法人日章学園医療福祉専門学校 精神保健福祉士養成学科専任講師、特別支援教育学部部長となり、現在も同校や複数の看護専門学校、大学等で非常勤講師として従事している。平成21年西都病院、平成22年古賀総合病院（ストレスケア）医療技術支援部 副部長を歴任後、平成30年一般社団法人一路会を立ち上げ「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの推進に向けて、精神障がいのある人が安心して生活できる地域づくりに寄与したい。」という思いで、経営する訪問看護ステーションや相談支援事業所で個別支援に関わっている。さらに、平成29年宮崎県精神保健福祉士協会会長への就任や、県内各種協議会等の委員としても活躍している他、県内の精神保健福祉関係の研修会の講師を勤めるなど、広く精神保健福祉の推進に関わっている。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
くらづめ ひでおみ 倉爪 英臣	日南市	特定非営利活動法人 ふれあいスポット かがやき理事長	平成19年から障がい者と高齢者の居場所づくりを始め、平成25年からは就労継続支援B型作業所として指定を受けながら、障がい者に地域に欠かせない労働の担い手として活躍する場を提供し、農業と福祉の連携を図りながら、障がいを持った方が自尊心を持って地域で暮らしていく基盤づくりに貢献している。
えびの市 はつらつサポーター連絡会	えびの市	はつらつサポーター	平成26年から活動開始し、令和3年6月現在、323人のサポーターがえびの市内62地区で活動している。週に1回、はつらつ百歳体操や各地区のサポーターが考案したプログラムを実施し、参加者が生きがいを見つけることのできる場になっている。参加者の心身の健康の維持・向上にも貢献しており、高齢者の安否確認やひきこもり予防、自殺予防の観点からも、はつらつサポーターは重要な役割を担っている。
わたなべ ゆきこ 渡邊 幸子	木城町	特定非営利活動法人 ふあむ・ふあーむ 代表	平成19年に特定非営利活動法人「ふあむ・ふあーむ」を設立。同年、心理教育相談「心のそうだん室」も開設し、平成21年度からは木城町の3歳児健診、平成25年度からは5歳児相談にて子どもの発達相談を対応してきた。 また、平成21年度には役場と共に保育園巡回相談事業がスタートし、現在も継続して活動している。平成23年度からは子どもから大人までを対象に「心の相談」事業にも尽力している。また、同年、児童発達支援事業「はぐはぐ」や放課後等デイサービス「くうくう」等を開設。障がい児の療育支援にも尽力してきた。平成27年には児童発達支援センター「はぐはぐ子ども村」を、平成28年には就労支援事業「もくもく」を開設し、障がい者が安心して生活できる「地域づくり」に貢献している。

氏名	住所	所属・職名(職種)	功績概要
かとう ゆきお 加藤 由紀夫	川南町	特定非営利活動法人 川南町のぞみ会 事務局長	平成25年3月に社会福祉協議会事務局長を退職後、同年10月から、特定非営利活動法人川南町のぞみ会の事務局長に就任。障がい者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、ニラの生産加工（選別、計量、結束）作業のほか、研修や毎月のデイケアなどの活動を通して、障がい者の創作的活動や生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図っている。
かいえだ のりゆき 海江田 德行	延岡市	一般社団法人 宮崎県断酒友の会 延岡支部長	平成19年から宮崎県断酒友の会延岡支部にて、講演会等での情報を会員へ伝達共有活動を開始、平成22年から宮崎県断酒友の会延岡支部長に就任し、断酒継続のための個々の段階に応じた支援へ取り組む。 平成28年から宮崎県断酒友の会副理事長に就任し、県北地域の代表として活動発展に尽力している。
さとう としはる 佐藤 利治	高千穂町	道の駅高千穂 館長	道の駅高千穂職員としての見守り活動に加えて、館長として、職員が日頃の見守りや声かけ意識を継続するために、日誌へ記載枠を設けたり、ミーティングでの話題提供などの取組を行っている。 山の会メンバーとして単独登山者や不審な者に対する声かけ活動を行うとともに、会長として、所属メンバーの上記のような者に対する声かけ意識の充実に尽力している。 山中での自殺企図者を含む行方不明者捜索に関わる関係者へ知識指導を行うとともに、捜索活動を長年継続している。



不登校・ひきこもりの子どもを持つ親の会
コスモス会

この度、第61回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、とても光栄です。

また、他の表彰された個人や団体の方々の素晴らしい活動を知る機会にも繋がりました。

私どもコスモス会は1997年に設立しました。

今は月1回の例会、通信発送、不登校の子どもたちを持つ親の声を纏めた本の読書会が主な活動です。一時休止している当事者（子ども）の居場所づくりも再開したいと思案しているところです。

学校に行きしぶる子どもを持つ親が集まり、寄り添い合い、話したり聴いたり、時には涙したりすることで、自分や子ども、家族に向き合うエネルギーを得ることができることを実感し“一人で悩まないで”をコンセプトに今に至っています。

子どもが不登校になると、まず、親（特に母親）は自分を責めます。そのように思っているところに、家族から責められ、行き場がないと感じる中、子どもの将来もどうにかしないと行けないとあがきます。

そんな親を見ていて、もっと自分を責めるのは子どもです。自分のせいで親たちを苦しめている。でも、身体が、心が思うように動かないのです。

コスモス会で元気を取り戻した自分の親が、自分に寄り添ってくれるようになります。子どもにとっては“なんか変な会に入ったぞ”とはじめは疑心暗鬼ですが、あれ？自分を認めてくれるぞ、ありのままの自分を愛してくれているぞ！と実感するのです。

そんな地道な活動ですが、例会はもちろん、通信でつながっている、元気をもらっているという声を励みに活動しています。

本来なら、不登校やひきこもりの子どもたちがいなくなることで、活動の必要がなくなることが一番いいのですが、まだ需要があるということは、精神保健福祉センターなどの公的機関のお力や他に形は違えども、同様な思いで活動されている方々と手を組み合わせていくことも必要だと思ひ、この表彰も機会を与えられたのだと励みになります。

ありがとうございました。



一般社団法人一路会
代表理事 押川 奉史

この度、第61回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り、大変光栄に存じます。

今回、このような表彰をいただくことができました事は、日頃より利用者への精神保健福祉の向上に尽力されている会員はもとより、当会の運営に対し格別のご理解とご協力を賜っております関係各位のお力添えによるものであり厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の精神医療保健福祉の動向では、精神障がいの有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障がい福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された社会の構築が目指されています。すなわち、誰もが地域社会で生活する方々と同様に、社会から排除されず、必要な社会資源を利用しつつ、地域の一員として社会経済活動に参加出来る機会を得る権利を有しています。

現在、当法人では精神科訪問看護を中心とした訪問看護ステーション、障害者総合支援法に基づく相談支援事業所と自立生活援助事業所を有しています。また、本年夏には新たに共同生活援助事業（グループホーム）を創設するために申請作業を進めています。

先程も述べさせて頂きましたが、国は「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指しており、当法人では精神障がいのある方々等に、密な連携と協働体制が確保された医療、福祉、住まいが提供できる事を目標としています。そして、より信頼の置ける社会資源のひとつになれることを切に願っています。

コロナ禍で利用者や関係各位とお目にかかることも儘ならぬ中、表彰を賜りましたことは、私どもにとって大きな励みとなっております。

今後も利用者の方々に対してより良いサービスが提供できるよう、精一杯努力していく所存でありますので、本協議会をはじめ関係各位のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この度は、誠にありがとうございました。



NPO法人ふれあいスポット かがやき
倉爪 英臣

第61回 宮崎県精神保健福祉大会にて、教養も、素養も持ち合わせていない私のような者が、連絡協議会会長表彰を頂き大変光栄です。お陰様で自分の生きざまに「反省」の思いが付きまとう毎日です。

当施設は、細々ながらB型として農業を主に活動しています。

先日、精神に疾患をもつスタッフと（日常活動・仕事の取組）について話し合いを行いました。障がい特性を考えビニールハウスでの育苗・管理作業を主にお願ひしています。

まずは、日常生活について・・・

①「自分の想定する日常活動以外の情報が入るとストレスになり、疲れを次の日まで持ち越して動けなくなる」、②「思い立ったら行動を起こし想定内の解答を聞き出すことで安心感を得ようとする」、③「最近、自分の興味あることを話す周りの人の顔色が気になり籠もってしまう」など
仕事について・・・

①「自分が役に立っているのかわからない、知りたい」、②「仕事の内容を把握したいのでルールを覚えてほしい。管理作業は結果がすぐに出ないので焦っては自分がきつくなるだけだ」、③「自分の思いだけで植物は育たない。時節に合わせてマイペースで取り組むこと。花開くのは早くて半年先だから」・・・その他思い思いの会話です。

最後に「それぞれの立場で無理なくチームワーク活動は出来ないのか？」の会話になりました。各々が現在興味のある草花での育て方を覚えると、例えば水かけの要領や除草の方法など役に立つのではないだろうかなど。

自分の身近な存在として接することから始めるのも無理ない仕事として受け入れられるかもしれないとの話でした。

その様な話の中から見えたことは、「ストレスが溜まりそうなき、体調がすぐれないときは、自分なりの方法で、ゆっくり身体を休める事も何より大事な仕事の時間だ」と考えること。

仕事も余暇も区別が付けにくくなったら、両方とも自分の身体のための仕事なのです。

十人十色、それぞれの価値観や時間差に追いかける現代。いつの間にか取り残されている自分の姿が垣間見えます。身体を病みながらも自分から逃げることなく真剣に物事に取り組むスタッフの会話に新鮮さを覚え、明日どんな天気になるのか不安と期待で過ごす日々、自分に正直であれと思ひながら・・・



受賞者の声

えびの市はつらつサポーター連絡会



第61回精神保健福祉大会で表彰の対象になっていることを知ったときには、嬉しさもあり、びっくりもしました。

平成26年に、百歳体操は、“自分が” “地域が” 元気になれることで始まりました。現在も、えびの市地域包括支援センターの御指導で活動を続けています。今ではすっかり、えびの市の各地域で楽しみの場になってきており、嬉しい限りです。

はつらつサポーターは、包括支援センターが実施する養成講座を受講し、認定を受けて各自治会でサポーターになります。現在、315名のサポーターが62会場で、823名の参加者と1週間に1回楽しく実施しております。

各地区のサポーターが考案した脳イキ、包括支援センターが実施する研修会・交流会等を通じ学んだ情報を、参加される皆さんと共有し、楽しく実施しています。

地区会場は、生き甲斐を見つける場になり、心身の健康維持・向上にも貢献しており、おしゃべりの中から高齢者の安否確認やひきこもりの予防・自殺予防等の観点からもはつらつサポーターは重要な役割を担っていると評価されています。

毎週1回集える場があることは、絆も強くなり楽しみの場となり、精神面の安定にもつながり、思いやりの心も深まっていると感じます。

今年からえびの市は、ポイント制導入で、実施会場単位で奨励金が出るようになり、楽しみと励みをいただきました。

新しい発想をもって、健康寿命を延ばし参加することで楽しさも知識の向上も元気もしっかりもらえる百歳体操を発展させるため、包括支援センターとサポーター、参加者が一体となり、「自分が元気」「地域が元気」になる活動を明るく楽しく続けていきたいと思っております。

素晴らしい歴史と権威ある受賞を心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

受賞者の声

特定非営利活動法人ふあむ・ふぁーむ
理事長 渡邊 幸子

第61回 宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただきまして、ありがとうございます。

令和3年9月に、思いもよらぬ会長表彰のご連絡をいただきました。あまりにも突然で、「どうして私に?」「私でいいの?」という思いでいっぱいでした。

授賞式に参りましたら、受付の方やすれ違う方々が口々に「おめでとうございます」と言ってくださり、「ええっ、そんなにすごいことなの?」と急に緊張が増したのを今でも鮮明に覚えています。式が進むにつれ、これまで長い間頑張ってきた方々が受賞されていて、“本当にご苦労様でした、素晴らしいです”と心から拍手をいたしました。なので、ここでもまた、「私がいただいているの?」と思いました。

でも、私ひとりの力では到底できない事業を、職員や周りの方々のご理解ご支援をいただいたからこそここまでやってこれたと、素直に思えました。法人設立の15年の節目でみんなにいただいたご褒美だと思えましたので、この受賞を心からありがたく頂戴する思いに至りました。

平成19年に特定非営利活動法人ふあむ・ふぁーむを設立しました。

当法人は、すべてのひとたちが「協働・共生」して暮らせる地域づくりを目指しております。精神・知的・発達などの障がいの特性のある方々の、福祉の向上と自立に寄与することを目的に、障がいのある方々の相談、援助、日常生活や就労の支援などを行います。

また、これらの方々が地域にとけこみ自分らしく豊かに生活できる地域づくりや、障がい児・者に対する社会的理解を促進することを目的としております。

法人設立当初、心理教育相談室「こころの相談室」をスタートし、大人のカウンセリングや子どもの発達相談にのり、それ以降、児童発達支援センターでは子どもさんの早期からの療育、保育園等の訪問巡回支援等を行っています。就労継続B型支援では、障がい者の方のスキルアップと安心できる居場所となるよう、職員一同力を合わせて頑張っております。近年は、発達と言葉の相談室「はこ相談所」を開設し、子育てに悩みのある保護者の方の相談にも力をいれております。

この受賞を機に、これまでの歩みを振り返り初心に戻って、関係機関の方や利用者の方、地域のみなさまに感謝しご指導を仰ぎながら、これからも微力ながらお役に立つことができるよう、職員一丸となってまい進して参ります。



受賞者の声

NPO 法人川南町のぞみ会 加藤 由紀夫

第61回宮崎県精神保健福祉大会の席上におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、心から感謝申し上げます。

川南町のぞみ会は、精神障がい者が入退院等を繰り返すことなく、地域や家庭で生きていくことができる社会復帰の場として、平成6年2月に川南町精神障害者福祉会（家族会）が小規模作業所として設立し、平成19年9月に法人化へと移行しました。

設立以来、農産物（ニラ）の選別、計量、結束等の軽作業を行いながら、日常の生活のリズムが取れるよう支援を行っています。

私は平成25年秋から作業所に勤めさせていただいております。それまでは障がい者との交流の機会は少なく不安はありましたが、皆さんが温かく迎えてくださり安心したことを覚えています。事務の傍ら指導員補助として作業を一緒に行い、利用者とのコミュニケーションを図りました。作業所の利用者の障がいの程度はそれぞれ違いますが、皆が楽しく作業が出来るよう一人ひとりの体調等の変化がないか気をつけたり、また、作業でもその人に合った作業を依頼し、無理のない作業をしています。利用者が少人数ということもあり、特にトラブルもなく楽しく作業に励んでいるところです。これからは障害者福祉サービスの未利用者の受け皿として充実することが大切だと感じています。

作業としては農作業が主なので、季節や天候に左右されることもありますが、障がい者の就労の場、憩いの場、及び相談の場として提供できるよう、関係機関との連携を図りながら微力ではありますが尽力したいと思います。

この度はありがとうございました。



受賞者の声

一般社団法人宮崎県断酒友の会 理事長 海江田 徳行

この度は、第61回宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、とても光栄に思います。誠にありがとうございます。

私達は、1人でも多くの断酒を志す依存症者本人、並びに家族の支援の為、自助グループ断酒会として、日々活動に取り組んでいます。

これもひとえに、医療・行政・福祉保健の皆様の支援の御陰であります。

私たちにとって本物の回復とは、完全に酒を止めることだけではなく、今までの長い飲酒時代に、自分が犯したことを振り返り、思い出し、それを繰り返すことです。一生をかけて治す事が必要な病気であるので、回復のためには断酒継続が必要不可欠です。

私達は、依存症からの回復として、例会出席、一日断酒を原点に学習を深め、様々な欠点を直し続け、心の健康づくり活動を行い、社会人として地域社会に貢献する事を目標に、日々、努めてまいりたいと思っております。

これからも、断酒会を維持する義務、意志を持ち、自助グループとして、これから断酒を志す依存症者やご家族の支援の為、酒害の啓発、及び酒害者の自立支援活動に取り組み、依存症の方が1人でも多く回復に向かえるよう、努力してまいります。

皆様が笑顔で過ごせる事を祈念して、結びの言葉とします。

この度は誠にありがとうございました。



受賞者の声

元道の駅高千穂館長 佐藤 利治

この度は、佐土原総合文化センターで開催されました第61回精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

神話と伝説の町高千穂は観光客も多く、令和元年度には140万人もの人が訪れています。高千穂峡をはじめ溪谷等自然豊かな町です。平成14年に国道218号に「神都大橋」が開通し、同時にすぐそばに「道の駅高千穂」も開業しました。橋に近いこともあり高千穂警察署から「見守り隊」を委嘱されました。高千穂保健所の会議で県内や郡内の自殺状況等を知りました。「神都大橋」では実際に年間を通して数件の事例が発生していますし、又、道の駅の第2駐車場でも車内での事例があります。第2駐車場は国道を挟んだ向かい側にあり平日は駐車する車も少



なく職場からは目が届かないのですが、連日で駐車している車には職員一同気を付けております。また、見守り活動に加えて、職員が日頃の見守りや声掛けの意識を継続するために、業務日誌に活動記録枠を設けて、橋の欄干・第2駐車場に異常はないかを毎日記録をしています。

身近な話ですが、昨年知人の子供さんが自ら命を絶ちました。その子を幼い頃から知っていただけに凄しいショック、そして深い悲しみを受けました。母親と話す機会があったのですが、遺書には「私の分まで長生きして下さい」と書いてあったそうです。何の原因があつてそうなったのか分かりませんが、親の気持ちを思うといたたまれなくなります。最近はコロナ禍でうつ病になる人も増えたと聞いています。知人の話ですが、娘さんの家でのお孫さんとの会話の中に、学校にも家庭にも居場所が無いような言葉が出てくるそうです。今は核家族・共稼ぎの家族が増えておりますが、時間に心に余裕が無いのでしょうか。いつ、どこでも悲惨な出来事が起きるか分かりません。

道の駅高千穂は3月で退職しましたが、今は時間を見ては近くの小学校の子供たちの登校時に声掛けをして、子供たちの様子を見ています。そして私自身も子供たちから元気もらっています。これからは地域で声掛けや見守り活動を継続していきたいと思っております。

第21回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第21回宮崎県障がい者スポーツ大会が令和4年5月8日（日）にひなた宮崎県総合運動公園を中心に開催されました。

本大会は、障がいのある選手が、障がい者スポーツの祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

令和2年、令和3年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、今回3年ぶりの開催となりました。

当日は、選手の皆さんがこれまでの練習の成果を存分に発揮し、スポーツの素晴らしさを感じる素晴らしい大会となりました。また、家族や友人の方から、選手の皆さんへ多くの拍手が送られていました。

参加して頂いた選手や役員の皆様、本当にありがとうございました。

1 参加者数

10競技に427名　うち精神障がいの方34名

2 精神障がいの部の参加者数

- ・バレーボール 1チーム（6名）
- ・ミニバレーボール 1チーム（8名）
- ・グラウンド・ゴルフ 2チーム（10名）
- ・卓球 10名

● [結果]

バレーボール 優勝 江南よしみフェニックス A（宮崎市）

ミニバレーボール 優勝 笑顔（新富町）

グラウンド・ゴルフ 優勝 元気（新富町）

2位 ほとくり会（綾町）

卓球 優勝 男子の部 工藤 美樹雄（高千穂町）

女子の部 一瀬 たか子（延岡市）

全国障がい者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会) 金メダルを目指して

特定非営利活動法人 延岡市しょうがい者 大輪の会

宮崎県障がい者スポーツ大会 卓球 精神障害部門 優勝者の声

私が卓球を始めるきっかけは、42歳の時、障がい者相談事業所「とびら」の担当者からピンポンでもしてみたらという声掛けで、大輪の会「卓球クラブ」の練習風景を見学することから始まりました。練習をしている体育館では障がいのある方々とそれを支えるボランティアの方々が懸命に白球を打ち合っていました。互いにミスをして笑いながら和気あいあいと練習しているその雰囲気がとても居心地がよさそうで、私もみんなと一緒にやってみようと思いました。練習は毎週金曜日午後7時から2時間くらいです。

練習を半年間続けて、県内で開催される障がい者卓球大会初心者の部に初めて出場しました。最初はとても緊張してなかなか勝てませんでしたが、練習と大会出場を重ねるごとに少しずつ勝つこともできるようになりました。今では「宮崎県障がい者スポーツ大会」精神の部に毎年出場するようになりました。そして今年、念願の全国大会に出場することができるようになりました。

大輪の会主催「くろしお杯卓球」にて



バックからの返球やサーブからの得点などまだまだ課題がたくさんありますが、全国大会までに練習を重ねて、少しでも良い成績が残せるよう頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。

大輪の会では、様々なスポーツに取り組み、各種大会に参加しています。



表彰状をもらいました。



昼間仕事してからの夜の練習はきついときもあるが、体を動かし、みんなと卓球していると楽しい。



宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】オンラインで開催

期 日：令和4年2月3日（木）

参加者：65名

内 容：講演 「コロナ禍における若者・子どものメンタルヘルス～私たちにできること～」

講師 中央大学人文科学研究所 客員研究員
一般社団法人高橋聡美研究室
代表理事 高橋 聡美 氏



(オンライン配信の様子)

<内容> (※講演内容を一部抜粋)

コロナ禍における子どもたちの心の特徴や課題、また、子どもへの声かけ等、対応時のポイントをわかりやすく説明していただきました。

- ・子どもの頃からアンガーマネジメントを身につけ、「嫌だ」と言える力をつけること。また「人の心は折れるものだ」ということを知り、立ち上がり方（レジリエンス）を身につけることが大切。
- ・SOSの出し方教育で子どもたちに伝えていること「心の傷は言わないと見えない」「早く手当をすると治りが早い」「大人に相談すること。あきらめないで、3人目までの大人に伝えて」
- ・基本的自尊感情（成功と優劣とは無関係の自尊感情）を育てるためには、まるっと受け入れてくれる他者の存在が必要。ありのままを受け入れるコミュニケーション（オウム返し、詳しく尋ねる、TALKの原則等）
- ・誰かに話を聞いてもらえた経験は、一生、その人の中に残る。

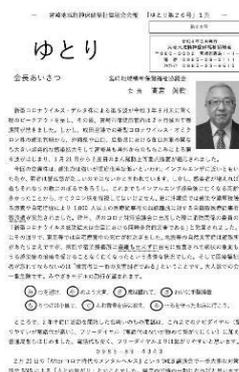
<参加者の声>

参加者からは「子どもの生きづらさに気づける、話をしやすい雰囲気づくりをしたい」「SOSの受け止め方、受容傾聴を実践したい」などといった声が多く寄せられました。

【協議会だより「ゆとり」発行】

精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動報告を中心に編集した宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第26号』を発行しました。

会員の活動紹介として国富町の檜の木家族会、施設外活動紹介としてリワークデイケアひかりの活動などを掲載しました。



日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

これまで20年以上に渡り、精神障がい者やその家族が住み慣れた地域でその人らしく生活ができるよう、心身の健康増進を目的として当事者同士の交流会や家族同士の交流会等を開催してきました。

【協議会だより「潮騒 No. 30・特大号」の発行】

令和3年度は、例年発行している協議会だより「潮騒」を特大号として発行しました。内容は、障がい者の「自分らしく暮らす」を支えている就労継続支援事業所（A型・B型）、相談支援事業所、地域活動支援センター、病院など9事業所の活動内容や取組について紹介記事を掲載しています。

この特大号は、地域の社会資源についてより理解が深まることを目的に、日南串間地域の民生委員等の支援者に広く配布を行いました。

今後も、誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の実現に向けて、広報活動や研修会等の開催に取り組んでいきます。



都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や家族交流会、普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

- 日 時：令和3年11月20日（土）午後2時半～午後4時半
場 所：都城中央公民館 大会議室
参加者：33名（一般、相談支援事業所職員、就労支援事業所職員等）
内 容：①講演「アルコール問題を抱える方との関わり方」
講師：大悟病院 精神保健福祉士 海蔵 隆志 氏
②講演「自助グループ会員からのメッセージ」
講師：AA グループ 当事者
③講演「自助グループ会員からのメッセージ」
講師：断酒友の会 当事者の家族



海蔵氏の講演では、依存症支援について、住民・家族の声かけの手法や、誰でもなる可能性があること、回復の過程には自助グループとのつながりが重要である等、講演いただきました。

また、当事者の講演では、自身がアルコール依存になるまでの経過と、AAに繋がる前後のエピソードについてお話いただき、「飲酒は一人ではやめられない」「仕事も家庭も全て失ったが、過去のことは変えられない。この先にいいことはきっと起こる。と信じて一日一日断酒を継続している」というお話がとても印象的でした。

最後に、当事者の家族から「家族は本人の対応に疲れ切ってしまい、正常な精神状態でいられなくなる。当事者同士が集まっての会も大切だが、同じ悩みを持つ家族会の役割（人と話すこと）が大事であると感じている」というメッセージや、「現在、本人は断酒が継続できているので穏やかな生活を送れている。このままの生活が続けばよいと思う」とのお話をいただきました。

講演会をとおして参加者からは、「病気の理解と本人・家族の気持ち、心情を具体的に聞くことができてよかった」などの感想をいただき、アルコール問題を抱える方との関わり方、当事者・家族の経験について学ぶ良い機会となりました。

【精神障がい者家族交流会】

- 日 時：令和3年11月30日（火）午後2時～午後3時半
場 所：都城保健所 多目的室
参加者：11名（家族（7名）、精神科病院職員、行政職員等）
内 容：統合失調症患者の家族のみを対象とした座談会。
就労や、将来の患者本人の生活について、意見交換を行いました。



【協議会だよりの「オアシス」の発行】

令和4年3月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。「突撃！地元の事業所さん」と題して、就労継続支援B型事業所「ななえ福祉作業所」の紹介等を掲載しています。

西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しています。

【西諸地域精神障がい者作品展会】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行状況により、西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」を開催することができなかつたため、10月に小林市福祉課主催の障がい者福祉施設等作品展に参加しました。また、12月にえびの市・高原町の役場にて作品の展示会を実施しました。



◇参加機関◇

- ①医療法人浩然会内村病院
- ②スマイルハウス
- ③えびの支援センタービーだま
- ④地域活動支援センターゆるいとタウンとんでーの
- ⑤サポート友喜たかはる
- ⑥えびの福祉作業所
- ⑦NPO法人西諸地域活動センター菜の花作業所
- ⑧高原町あじさい会

【協議会だより“ときめき”第23号の発行】

令和4年3月に協議会だより“ときめき 23号”を作成し、関係機関や会員へ配布しました。協議会の活動報告について紹介しています。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

当協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【精神障がい者家族のための研修会】

日程：令和3年12月23日 場所：高鍋保健所 参加者：10名
 内容：講演「家族だけで抱え込まず、制度を利用しよう」
 （高鍋町社会福祉協議会 こゆ成年後見支援センター 合田明美氏）

精神疾患についての理解や福祉サービス制度について理解を深めると共に、近年高齢化が進んでいる精神障がい者の家族会と若い世代の家族等が交流する機会を作り、家族会組織を維持・発展させることを目的に研修会を開催しました。

講演では、成年後見人制度を中心に、利用可能な福祉制度についての説明や、悩みを家族だけで抱え込まず、制度や相談機関を活用することの大切さについて話がありました。

参加者からは、講演について「いろんな制度があると知り、少し心が軽くなりました」「大変参考になりました。また参加したいです」等の感想が聞かれ、有意義な研修会となりました。



【協議会だより「心と心のたより」の発行】

令和4年3月に協議会だより「心と心のたより23号」を発行しました。
 精神保健福祉事業功労者表彰や西都児湯地区精神保健福祉協議会の活動を掲載しています。



【社会資源リーフレット・マップ】

令和4年3月に西都児湯管内の精神保健・医療・福祉に関する情報が記載されたものを改訂・発行しました。



リーフレット

マップ

日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の 24 の関係団体及び賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【精神障がい者地域移行研修会】

精神障がい者が安心して生活できる地域を目指し、精神科病院職員と相談支援事業所等の地域支援者の連携強化を目的に、支援者を対象に研修会を開催しました。

今回は、Zoom によるオンラインでの研修となりました。

研修会後、参加者からは「医療を含めた支援者との連携が重要だと思った」、「私たちの仕事の本質が確認できた」、「利用者の心の声を聴けるよう努力しようと思った」等の感想が聞かれました。患者様の立場になり、地域移行を進めていくことの重要性を再確認することができました。



○期日：令和 3 年 12 月 10 日（金）

○内容：演題「地域移行支援における病院職員と地域支援者の連携について」

講師 社会福祉法人 清樹会 地域生活支援センターすみよし

主任相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士 山口麻衣子 氏

○参加者：36 名（オンライン受講 30 名、保健所での受講 6 名）

【プロジェクトチーム検討会】

当協議会では、平成 27 年度からプロジェクトチーム検討会を実施しています。

この検討会は、精神障がい者の地域移行支援の体制整備を目的に、地域の実務者をメンバーとし、協議会活動の具体的な検討や、個別ケースの共有を行っています。

令和 3 年度は計 4 回実施し、第 4 回はピアサポーターとの意見交換を行いました。

○場 所：日向保健所

○参加機関：精神科医療機関、自立訓練施設、相談支援事業所、障害者就業生活支援センター、市役所 など

○内 容：



	日 程	内 容
第 1 回	令和 3 年 7 月 15 日	これまでの活動の振り返り、令和 3 年度の具体的な取組の検討
第 2 回	令和 3 年 10 月 5 日	令和 3 年度研修会の具体的内容の検討、ピアサポーター活動の共有
第 3 回	令和 3 年 11 月 24 日	ピアサポーター活動の共有、地域移行支援ケースの共有
第 4 回	令和 3 年 12 月 23 日	ピアサポーターとの交流、意見交換

【協議会だより「さわやかだより第 22 号」の発行】

令和 4 年 3 月に発行しました。

延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルレクリエーション大会】

- 期 日：令和3年11月、12月
- 場 所：吉田病院デイケア、延岡保養園、延岡保養園デイケア、延岡市地域活動支援センターみなと
- 参加者：287名（スタッフ含む）
- 内 容： 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き、複数の団体を集めることになるハートフルスポーツ大会は行わず、各団体でのレクリエーション大会として開催しました。各団体で卓球バレーやグランドゴルフ等、様々な種目に取り組み、参加者からは「景品がもらえて嬉しい」「大会は、盛り上がるし楽しい」等の感想が得られ、楽しいレクリエーション大会になりました。



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的としてこころの広場第37号を発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【アルコール関連問題啓発】

期 日：令和3年11月15日

場 所：アズーロ

参加者：15名

内容：「アルコール関連問題啓発週間」実施要綱に基づき、アルコール関連問題・健康障害が自殺の危険因子のひとつであること等の正しい知識や相談先を知っていただくため、また、アルコール関連問題について、考え・気づく機会となることを目的として、住民の皆様へ啓発活動を行いました。

例年、高千穂警察署と協同で啓発活動をしているところですが、令和3年度は当協議会メンバーにも参加を呼びかけました。

来店客の中には、顔見知りの方がおられ、1時間で約100部の啓発資材を配布できました。来店客の中には、説明に関心を寄せられる方もおり、有意義な活動になりました。



【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

こころの健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供、啓発を目的として、年1回広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しています。

巻末には、管内の相談先や、当協議会が主催する「家族のつどい」について、紹介を行いました。

当協議会での活動のひとつである、精神障がい者の就労継続支援事業所等活動費助成についても紹介しております。こちらは、精神障がい者が就労継続支援事業所等で働き、社会復帰に向けた訓練を行うことから、管内の就労支援事業所に対して、働く場の環境整備や就労に必要な知識や能力向上のための訓練やその他活動に要した費用について、助成を行うものです。

西臼杵地域精神保健福祉協議会の広報誌

精神保健福祉 たかちほ 第28号
令和4年3月発行

（西臼杵地域精神保健福祉協議会会長挨拶）

西臼杵地域精神保健福祉協議会 会長 榎本 昌彦

2020年初めから世界へ広がった新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活を大きく変えました。ライフスタイルにおいても行動が制限されるようになり、これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、あふれかたりに変化を招いています。多くの企業がオンライン会議となり、各種講習会もまだまだ実態には開催出来ていない状況が続いています。

また、withコロナ時代に突入し、コロナ禍での様々な環境変化に伴い強いストレスを感じている方も多く、心の健康への影響を改めて実感した1年でもありました。われわれ医療や介護の現場でも緊張感が弛められない日々が続く。コロナを乗り越え、乗り越えられないことも目標に感染対策を行っています。当協会におきましてもワクチン接種会場が設置され、多くの皆様にご利用

用いただきました。いづれも登壇ではない作業でしたが、関係者の方々により実施することができました。また、医療施設、介護施設等では、「面会」や「外出・外泊」をはじめ様々な制限事項を設けてはならず、患者様や利用者の方々の苦痛、関係機関の皆様には大変御迷惑をおかけしたことを改めて御礼申し上げます。今後は、3回目のワクチン接種やオンライン検診等、気が抜けない日々が続きますが、今後も真摯に対応してゆ

2022年は十月十二日と五寅（みづのとら）にあたり「ま」には「新しく生まれる」という意味があり、「寅」には「証証する、成長する」という意味があるそうです。2022年の主眼は、コロナの早い終息を願い、新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になってほしいと願っています。しかし、今後のことが見えない状況がまだに続いています。まずは感染防止のために、身近なところから少しでも出来ることを、周囲とスクラムを組んで事業にやっつけていきたいと思います。どうか2022年新型コロナウィルス感染の記念すべき年となりますように。

西臼杵地域精神保健福祉協議会って？

こころの健康づくりの啓発活動と精神障がい者の社会参加や福祉向上のための事業に取り組みしています。

理事長 榎本 昌彦 副理事長 山本 浩一 事務局長 山本 浩一

TEL 0982-72-2165

ウェブサイト「たかちほ」のアクセスはこちら

九州ブロック家族会精神保健福祉研修会 in 宮崎大会報告

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会
理事長 栗畑 貴志

開催日時	令和4年3月17日 木曜日 13:00～16:00
会場	メディキット県民文化センター 演劇ホール
形式	オンライン 会場参加併用のハイブリッド開催
開催テーマ	『笑顔 笑顔で SDGs 』 〈 S:住みたいところで D:誰もが Gs:心豊かに生活しよう 〉
参加者総数	295人(目標:200人)
リモート参加	60ヶ所(県内外総数)
会場参加者	108人(内講師・スタッフ等16人含む)
祝辞	宮崎県知事 河野 俊嗣 様(ビデオメッセージ)
祝辞	宮崎市長 清山 知憲 様(ビデオメッセージ)
講演	「笑いは人を元気にする」 講師 東京医科大学 学生・職員サポートセンター長 市来 真彦 氏
笑顔と癒しの コンサート	「バイオリン・ピアノデュオ」 姉妹 Duo catorea 様



振り返り

元々、九州ブロック家族会精神保健福祉研修会の当番県であったことから、2020年全国大会を実施する事になった。しかし、コロナ感染拡大により中止。その後もコロナ感染は継続し、九州ブロック家族会精神保健福祉研修会を実施する決断が遅れた。さらに、当初2月実施計画もまん延防止等の発令により約1ヶ月延期するなど、計画作成から準備、実施に至るまでコロナの影響を受けた。また、不慣れな大会運営のためもあって各県の皆様や行政関係者など各方面の方々にご迷惑を掛けた。

このような中、各県の代表者様はじめ行政関係者からのご理解とご支援を頂いたことで大会への推進が出来、寄付や広告掲載、参加申し込みをして下さった方々にも、ご協力や励ましの言葉を頂きすごく励みになった。

新たな時代 (オンラインの活用)

一般社団法人宮崎県断酒友の会
理事長 海江田 徳行

令和3年度も新型コロナウイルスは私たちの生活に様々な影響を与えました。

緊急事態宣言の発令により、大人数での会食、集会等の自粛、不要不急の県外との往来等の自粛などがあり、私たち断酒会にも大きな影響を与えました。まずは、定例会、研修会等の中止、『聞くは最高の治療』『話すは最高の治療』が出来ずストレスの溜まる時期がありました。そして2年前から準備を進めてきた『九州ブロック宮崎大会』の中止。開催1ヶ月前での中止の決定には心が折れました。そんな中、宮崎県障がい福祉課より、令和3年度依存症自助グループ活動緊急支援事業にてオンラインによるミーティングの支援があり、令和4年2月よりオンラインミーティングを月2回第2・4月曜日に開催する事が出来、毎回20名程の参加者で行っております。断酒を始めて間もない会員や未だ断酒の出来ない方には県内外の仲間の体験談が聞け凄く喜んでおり、また、県外の仲間との画面越しで再会し久しぶりの再会に喜ぶ仲間たちの笑顔を見る私達もつい微笑んではいられません。これもまた、コロナウイルスがもたらした新しい例会のあり方の一つだと考え通常の例会とうまく組み合わせていけば相乗効果で例会参加の増加につながるかと思えます。

また、9月と11月に宮崎県精神保健福祉センターとの共催で行った、SBIRTS普及推進セミナー、アルコール健康障害対策一般公開セミナーは、会場とオンラインの両方で開催。コロナ禍の中、全国的に中止が多かったのですがオンラインでつなぐ事で会場の参加者を少なく出来、開催する事が出来ました。

断酒会は今後とも行政、医療機関と連携し、未だ酒害に悩み苦しんでいる当事者、家族の方の手助けとなるように活動を続けてまいります。



オンラインミーティング



SBIRTS 普及推進セミナー

就労継続支援B型事業所 フクちゃん工房

（事業所概要）

当事業所は、日南市社会福祉協議会が運営する就労継続支援B型事業所です。場所は北郷地域振興センターの裏側になります。作業を通して、働く事への意識や自信を持つこと、更に楽しみや生きがいも持ってもらえるように支援します。



（利用対象者）

身体、知的、精神障がいなどをお持ちの方が対象になります。当事業所は20名定員の現在18名の方が登録されており、グループホーム、自宅から1日平均約11名の方が通われています。

（作業内容）

障がいの中でマヒや車いすの方が多いため、全体的に軽作業を中心に活動しています。活動内容につきましても個別支援計画に基づいて、利用者様がしたい事・出来る事・出来るような事などを支援しています。

（主な作業）

- 外部受注 コースター磨き他、ティッシュカバー、洗車、清掃、草刈りなど
- 手工芸品 手芸製品、木工製品、他の製作、販売
- カフェ 飲み物、クッキーの提供
- その他 草刈り等地域個人様からの依頼も出来るだけ対応します。

（事業所の様子）



問合わせ先:フクちゃん工房

住所:日南市北郷町郷之原乙2006番地1

電話番号:0987-55-2719

令和3年12月1日現在

～ななえ福祉作業所～

【令和4年2月1日現在】



地域行事参加風景



所在地/連絡先	都城市南鷹尾町18街区23号 ☎ 24-1922	
HPの開設	有り http://nanae-meirou.or.jp	
定員	20名	
主たる対象者	特定なし	
年齢層/障害種別	18歳代～（身体・知的・精神）	
男女比	男性10名、女性10名（20名利者目標）	
サービス提供日・時間	原則月曜～土曜日 9時～16時(希望可)	
昼食	（1食350円で公的認可弁当屋さん紹介） 弁当持参可	
送迎	有（交通機関のないところ、要望のある人）(無料)	
作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●農福連携作業 ●メール配達準備中（土日祝日2時間程度） ●電線芯取り出し ●市・受託清掃（公園・プール）●病院（マンション清掃：月～金2時間） ●土建・建築請負（取次） ●トイレトペーパー・おしぼり販売（随時） ●新型消火器（高齢者・低年齢者・障がい者も使用できる製品）販売（随時） ●弁護士・司法書士・行政書士取次(無料) 	
平均工賃（月額）	令和4年3月 31,500円以上	
余暇活動	花見、ゲーム、食事会・1年に1～2回程度美味しいもの食べる会開催	

【タイムスケジュール】



事業所からの
アピールポイント

その他、余暇活動として、仲間との外出や地域の方々との交流を行っています。



自分のペースで作業に取り組まれます。頑張りが認められるところです。(自立を応援します。)
お気軽に見学へ、いらしてください

自立を目指して 地域へ社会へ



さんさんかい
社会福祉法人 燦燦会
ふれあいの里

〒886-0003 宮崎県小林市堤2950番地

TEL 0984-23-4478

FAX 0984-23-4503

Mail : sansan@mx61.tiki.ne.jp

生活介護 (定員20名)

介護を必要とする方の排泄、食事等の支援を行います。身体機能の維持・向上、創作活動、生産活動等の機会を提供すると共に利用者の方の社会参加をサポートします。



- 介護支援
排泄介助、食事介助、歩行援助など
- 機能維持の訓練
散歩、創作活動、口腔体操、手足の軽いストレッチ

- 健康観察
血圧測定、検温、服薬支援、健康診断
- 生産活動
封筒作り、誕生日カード作成、授産品の制作



自立(生活)訓練 (定員8名)

利用者の方が自立した日常生活や社会生活を送られるよう生活能力の訓練の場を提供します。

- 生活訓練
文字練習、裁縫、清掃訓練、調理訓練、買物訓練、洗濯や服のたたみ方、交通機関の利用や外出訓練、公共施設の見学など



- 訓練を兼ねた生産活動
委託作業（ゴム製品のバリ取り作業、広告袋詰め）、授産品の製造など

就労継続支援B型 (定員32名)

利用者の方に働く場を提供し技能や能力向上のための訓練を行います。就労や生産活動のサポートをいたします。

- 【生産活動】
- 委託作業
クッキー製造販売、粉末袋詰め
 - 施設外就労
ゴルフ場（コース整備、館内清掃）、製材所、公園内のトイレ掃除など



- 授産品の製造
ドレッシング、漬物、クッキー、木工製品、木杭など
- その他
ぶどう園、レストラン

施設サービス、事業等

- 園内行事
誕生会、新年会、クリスマス会、季節行事（餅つき・節分）など
- その他サービス内容
送迎サービス、給食(昼食)サービスなど
- 園外行事
スポーツ大会やイベント参加、遠足など

【一日の主な流れ】

8:30 ~	送迎
9:40 ~	朝礼
10:00 ~	作業・活動
12:00 ~	昼食休憩
13:00 ~	作業・活動
15:00 ~	清掃
15:35 ~	終礼
15:40 ~	送迎

自宅やグループホームから通所し、日中活動を行なう事業所です。
働くことは、全ての人に必要な事と考え、日中活動の充実を図ります。
メンバーの『働く』『暮らす』『楽しむ』の三つを兼ね備え、人生を豊かに送っていただくために、工賃の支払いをします。

就労継続支援B型

他の企業などに出掛けて仕事をします。
支援を受けながら、委託作業や自主生産に取り組みます。



生活介護

ゆとりある仕事と、潤いのある日常生活を送ってもらうよう支援します。



畑作業



トマトパック詰め



シール貼り



千切り大根選別



施設外就労



椎茸あし切り



リハビリ・体操

就労移行支援

就労を目指すメンバーの支援をします（期限：2年間）



ジョブコーチ

働くだけでなく、やりたい事、欲しいものをメモに残し、目標を作る事をアドバイスした。
働いたお給料で自分の好きなことができる喜びを知ってもらいながら、定着につなげる。

Aさん

今までは自分の欲しい物があっても言えなかった。
働いたお金で、買い物に行けて幸せだった。
もっと仕事を頑張って45型のテレビを買いたい。

就労と定着に繋げる



花の花 パン製造販売・ギャラリー

手作りのパンを販売しています。
ギャラリーでは、近隣の作家さんの作品を中心に展示しています。



就労サポートセンター 太陽の樹

定員：就労継続支援B型 20名
住所：日向市原町2丁目4番6号
TEL/FAX：0982-60-3958
E-mail：meikousya2016@yahoo.co.jp



「誰もが幸せで、豊かなくらしを創造する」を理念に障害をもった方が、自分自身で考えた生活を私たちがサポートし、その生活が幸せと感じるように環境を整え創造していくことを目指します。また、自立支援に必要な様々な機関と連携して本人を中心とした「明るく！ 楽しく！ 当たり前！」を基本に置き環境を整え、サービスの提供を目指します。

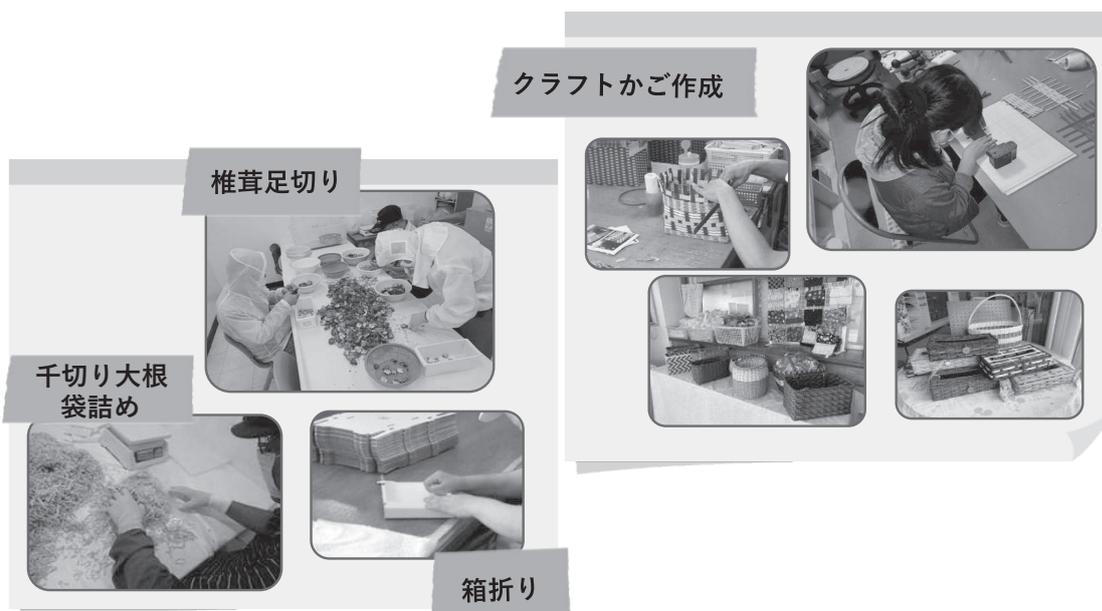
～ 作業内容 ～

受託作業（椎茸足切り、千切大根袋詰め、箱折り、ギフト包装 など）

メンテナンス作業（施設清掃、鶏舎清掃 など）

クラフト作成（クラフトかご、小物、布製品 など）

その他（販売活動、施設外活動 など）



就労継続支援B型事業所 ふれあい作業所あまてらす



ふれあい作業所あまてらすは、知的障がい・精神障がい・身体障がいのある人が利用できる施設です(定員20名)。
笑いの絶えない明るい環境で、毎日楽しく仕事をしています。

【作業内容】

- 公園の清掃委託作業
- 野菜作り
- ポン菓子製造
- 布製品の袋詰め 等

本人のニーズに合った作業を考慮しながら行っています



ポン菓子製品

布製品 検品・袋詰



【問い合わせ先】

電話 0982-74-8070

ファクシミリ 0982-82-2662

住所 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字岩戸972-1

【利用時間】

月～金曜日 9:00～16:00

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和3年度事業実績

1. 会議開催

(1) 第1回総会（令和3年6月9日 書面議決）

- ① 役員の選任について
- ② 令和2年度事業実績について
- ③ 令和2年度収支決算について
- ④ 会則別表第1の改正について

(2) 第1回理事会（令和3年8月2日 書面議決）

- ① 精神保健福祉功労者の会長表彰の選考について
- ② 精神保健福祉みやざき（第61号）の発行について
報告事項
 - ・第61回宮崎県精神保健福祉大会について
 - ・令和3年度九州精神保健福祉協議会理事会について

(3) 第2回総会（令和4年3月9日 書面議決）

- ① 令和4年度事業計画（案）について
- ② 令和4年度当初予算（案）について
- ③ 第62回宮崎県精神保健福祉大会開催概要及び特別講演等（案）について
- ④ 令和4年度の全体テーマ及び大会テーマについて
- ⑤ 会則別表第1の改正について

2. 大会開催

(1) 第61回精神保健福祉大会

令和3年10月9日（土） 宮崎市佐土原総合文化センターにて開催

参加人数 178名

3. 精神保健福祉功労者表彰

(1) 県大会時表彰状及び記念品授与 8件（個人6名、2団体）

4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業（助成額 35万円）
 - ① 宮崎県精神福祉連合会（助成額 30万円）
 - ② 宮崎県断酒友の会（助成額 5万円）

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第61号）」の発行・配布（600部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.76）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 専用ホームページの運用
- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（宮崎市）令和4年2月9日 → 書面開催

令和4年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第21回宮崎県障がい者スポーツ大会
令和4年5月8日（日） 会場：ひなた宮崎県総合運動公園、宮崎市総合体育館 他
- (2) 第62回宮崎県精神保健福祉大会 令和4年10月15日（土）

2. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 第62回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第62号）」の発行・配布（600部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.77）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」等の運用
ホームページアドレス（<http://www.miya-seiren.com>）
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス（<http://www.m-aot.net>）
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布

4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（5月23日（月） 書面議決）
令和3年度事業実績・決算承認など
- (2) 第2回総会（8月1日（月）開催予定）
会長表彰者決定、機関誌発行など
- (3) 第3回総会（3月6日（月）開催予定）
令和5年度事業計画・当初予算、精神保健福祉大会など

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（長崎県）
- (2) 第69回精神保健福祉全国大会（山口県）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

令和4年10月1日現在

役名	氏名	役職名
会長	高宮 眞樹	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
副会長	石田 康	宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野 教授
常務理事	直野 慶子	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理事	三山 吉夫	宮崎大学 名誉教授
理事	谷口 浩	日南串間地域精神保健福祉協議会 代表
理事	河野 仁彦	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理事	内村 大介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科病院協会 会長
理事	首藤 謙二	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理事	二宮 嘉正	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理事	吉田 建世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理事	中村 究	宮崎県精神科診療所協会 会長
理事	柏田 学	宮崎県福祉保健部福祉保健課 課長
理事	藤井 浩介	宮崎県福祉保健部障がい福祉課 課長
理事	栗畑 貴志	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理事	海江田 徳行	宮崎県断酒友の会 理事長
理事	永田 照明	宮崎県障害者社会参加推進センター 所長
監事	興梠 寛治	宮崎県社会福祉協議会 事務局長
監事	瀧口 俊一	宮崎県保健所長会 会長

●役員数：理事17名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間、新任者も同じ）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

令和4年10月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾田西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0806	宮崎市広島1-17-21 中村クリニック内	0985-32-7830	0985-32-7831	
宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0014	宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス405号	0984-22-8622	0984-22-8622	
一般社団法人 宮崎県断酒友の会	880-2213	宮崎市高岡町上倉永2644-3	090-5026-6603	0985-82-1898	http://www.miyashinren.jp/
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seihocenter-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8966	0985-39-0634	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunkai.jp/nozaki
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
社会医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大幡病院	889-1911	北川県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp/daigo
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早輪町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp/fujimoto
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.jp/hoyouen
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	http://www.kobayashihojo.or.jp
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/hospital
医療法人望洋会 鯨島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://takii-hospital.com
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.tanaka-hp.or.jp
医療法人恵善会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	http://saito-hospital.com
医療法人りっか会 ピア・ささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人新花会 あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	http://hukunaganaika-miyazaki.com
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こころメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.kogomentalclinic.jp
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-47ルネビル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
宮崎県社会福祉事業団 向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア みよしクリニック	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	https://heartopia.net
サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-clinic-s.com
医療法人サクラ会 あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地1	0985-74-5600	0985-74-5601	http://www.akebono-hp.com
医療法人社団博心会 大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町富田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
医療法人社団弘文会 松岡内科医院	883-0014	日向市原町1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人社団 龍水クリニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-86-8006	0985-86-8007	

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により中止となる場合があります。実施状況については宮崎県精神保健福祉センターへお問い合わせください。

ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:15 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後1時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3水曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線(下北方向)で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

【アドレス】 <http://www.miya-seiren.com/>

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階
TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

精神保健福祉みやざき(第62号)

令和4年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
TEL 0985-27-5663
FAX 0985-27-5276

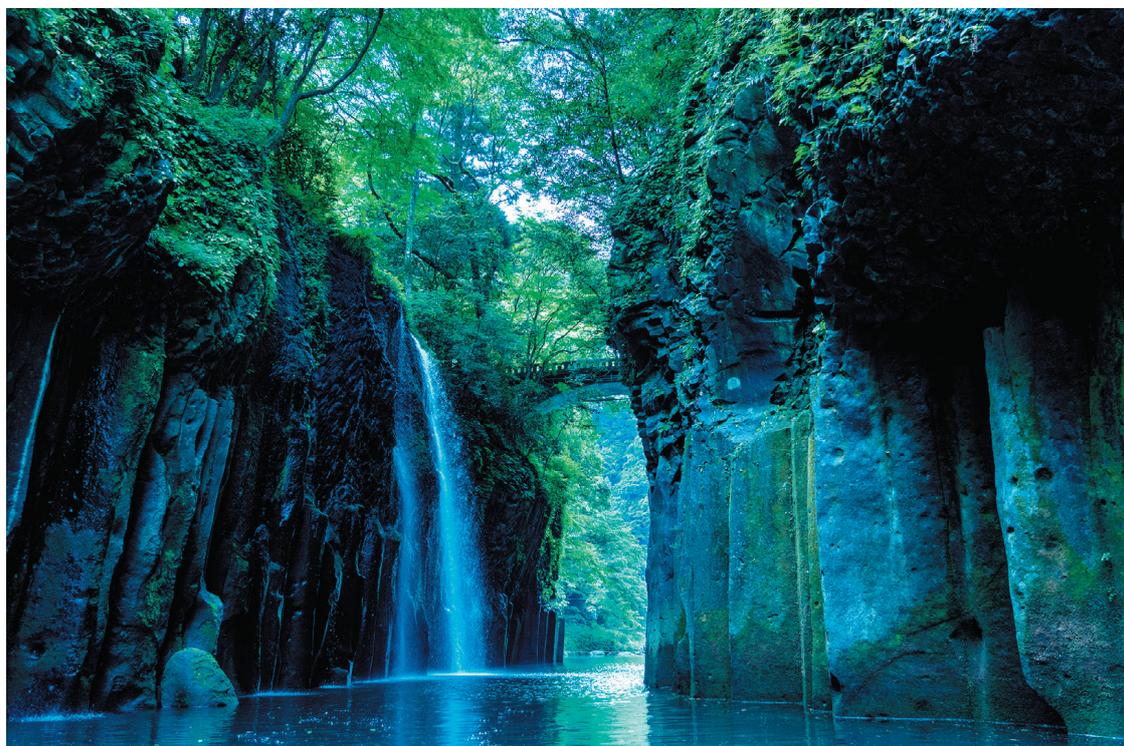
印刷製本 有限会社 K・I印刷
〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19
TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師	黒 木 慶 子
日南保健所健康づくり課	主任技師	中 川 優 馬
都城保健所健康づくり課	主任保健師	與那嶺 佑 樹
小林保健所健康づくり課	技 師	中 野 佳 穂
高鍋保健所健康づくり課	技 師	近 藤 彰 子
日向保健所健康づくり課	主任技師	藏 元 真理子
延岡保健所健康づくり課	技 師	山 崎 未 紗
高千穂保健所健康づくり課	技 師	稲 留 和 磨
精神保健福祉センター	副 所 長	杉 田 周士郎
	主幹兼主任	飯 尾 文 将
	主 査	戸 井 直 弘

精神保健福祉

みやがき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています